

対象施設の名称	②寿児童館
指定管理者の名称	社会福祉法人 台東区社会福祉事業団
所管部課	区民部 児童保育サービス課

【評価委員会による評価】

1 事業の運営について

委員会の評価：A+ （区の自己評価：A+）

- 各種の事業を行うことは、児童館の本来の機能を果たしているに過ぎない。事業の質の高さとその成果を、結びつけて説明する必要がある。
- 地域（寿地区全体）の協力を得て事業を展開しており、イベントも多彩である。
- 青少年委員の協力も得ながら、事業が進められている。

2 施設の維持管理について

委員会の評価：A （区の自己評価：A）

- おおむね良好に管理されている。

3 利用者の満足度について

委員会の評価：A （区の自己評価：A+）

- 来館していない区民の評価も参考にすべきである。
- 図工の学習には、特によい指導者を得ており、生き生きと時間を使っている。
- 午前中の空室を幼児タイムに活用したり、日曜日も開館している点など、利用者への配慮がなされている。

4 歳入歳出について

委員会の評価：A－（区の自己評価：A）

- 利用者が増加していることはわかるが、毎年経費が増加しており、その効果が不明確である。
- 区からの委託料収入のほとんどは、指定管理者の人件費と事務費に充てられているが、歳出については常に見直しを行っていく必要がある。
- 教材費等については、近隣住民等の協力を得ていることが、経費縮減に貢献している。

5 総合評価

委員会の評価：A－（区の自己評価：A＋）

- 地域の児童館として、良好な実績をあげていると思う。
- 青少年育成に関わる地域住民と協力しながら、さまざまな取組みを試みていることは評価できる。

施設名	寿児童館	指定管理者の名称	社会福祉法人 台東区社会福祉事業団			
1. 指定管理者の概要						
①業務内容	台東区社会福祉事業団は、昭和 6 1 年 1 0 月に設立。区立の児童館・こどもクラブおよび高齢者福祉施設の管理・運営を受託している。					
②類似施設の管理実績	児童部門：児童館 7 館、1 3 こどもクラブ 高齢者部門：特別養護老人ホーム、老人保健センター、老人福祉センター等の運営					
③経営状況	(19 年度決算ベース) [社会福祉事業会計]収入 2,401,341,470 円,支出 2,355,808,519 円,収支差額 45,532,951 円 [公益事業特別会計]収入 361,979,008 円,支出 340,218,519 円,収支差額 21,760,489 円					
2. 施設の概要						
①所在地	台東区寿 1-4-5					
②設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。					
③利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
④開館日・開館時間	月曜日から土曜日：9：30～18：00 日曜日(第 3 日曜日を除く)は一部開放 9：30～18：00 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日は開放)					
⑤規模	RC 造 地上 3 階地下 2 階建 (寿保育園併設) 事務室、図書室、遊戯室、図工室、こどもクラブ室					
⑥人員体制	常勤職員 3 人、短時間職員 4 人					
3. 事業(サービス提供)の概要						
①委託事業	①児童の福祉を目的とする事業 ②児童館の利用をとおして児童の情操の育成に資する事業 ③健全な遊びをとおして児童の集団的及び個別的指導を行なうこと ④その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
②自主事業	①地域懇談会実施 ②中学生と赤ちゃんのふれあい事業 ③父親の育児参加支援事業 など					
4. 施設の稼働状況等						
寿児童館利用状況						
年度	開館日数	総数	幼児	小学生	中高生	大人
17	334	31,684	2,693	23,722	1,374	3,895
18	335	35,494	2,645	25,274	1,344	6,231
19	335	37,826	3,049	26,574	1,393	6,810
5. 予算決算の推移 (単位：円)						
年度		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	委託料	31,604,000	29,330,000	33,698,000	37,773,000	
	料金収入等	0	0	0	0	
	管理経費	31,604,000	29,330,000	33,698,000	37,773,000	
決 算	委託料	24,858,291	29,974,207	35,216,328		
	料金収入等	0	0	0		
	管理経費	24,858,291	29,974,207	35,216,328		
	収 支	0	0	0		

6. 評価項目	3：期待以上の成果が見られる。 2：おおむね期待どおりの成果である。 1：さらなる改善が必要である。 -：評価対象外項目
----------------	---

評価の観点	評価項目	
①事業の運営 平均 [2.3]	(1)施設の目的達成 [3] (2)サービス水準 [3] (3)職員配置 [2] (4)職員研修 [2] (5)案内・接遇 [2]	(6)開館時間等の遵守 [2] (7)自主事業の成果 [3] (8)個人情報保護 [2] (9)緊急時対応マニュアル [2] (10)警備・防犯体制 [2]
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1)建物保守・設備機器点検 [2] (2)備品の管理 [2] (3)清掃・衛生管理 [2] (4)施設の修繕 [2]	(5)危険箇所等の確認 [2] (6)管理記録の作成・保存 [2] (7)業務委託の事前承認 [2] (8)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
③利用者の満足度 平均 [2.6]	(1)利用者・第三者機関の評価 [3] (2)苦情・要望への対応と報告 [2] (3)利用者数の目標達成 [3]	(4)利用しやすい環境整備 [2] (5)関係団体・地域との関わり [3]
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1)適正な予算執行 [2] (2)経費縮減のための取組み [2]	(3)収支計画の達成 [2] (4)利用料等の徴収・管理 [-]

7. 評価	A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。
--------------	---

評価の観点	評価	説明
①事業の運営	A+	単に事業を実施するのではなく、異年齢の児童・保護者・地域・関係機関を繋ぎ、子ども達のより良い暮らしについて共有しており、開かれた施設の実現に努めた事業実施が行なわれている。
②施設の維持管理	A	施設については、日常の清掃や安全管理に努めており、施設管理も記録されている。
③利用者の満足度	A+	地域懇談会を開き、地域の方々・保護者の意見、要望、子育て課題の共有を図っている。南部地区の児童施設として見守りの役割を果たしており、保護者から区に対しても、安心の声が寄せられている。
④歳入歳出	A	指定管理者として、職員全体で経営改革に努力しており、経費の削減、効率性の向上に努力している。
⑤総合評価	A+	施設構造が使いにくい工夫に限界もあるが、利用者数が増加している。利用者の要望の把握・分析を行い、今後活かしていく姿勢がある。

8. 課題への対応等

大江戸線、つくばエクスプレスの開通で、マンション建設が進み、新たな転入世帯も多い地域にある。そのため、核家族、価値観の違う保護者同士の行き違いの相談、調整、要望に応えるための体制作り(職員の相談・苦情対応力向上、関係機関とのネットワーク)が求められることも多い。個別な対応が必要なケースも増えているため、職員のスキルアップ研修を増やしたり、トラブルなどの緊急時対応マニュアルの整備をしていく。業務が円滑、有効に推進できるような業務基準書を策定し、役割や協力体制を区としても明確化していきながら、関係機関との調整や指導を行う。